

災害を知り、災害に備える講演会

『東日本大震災で得られた事、 復興に向けての課題と提言』

「一隅を照らすもの国の宝なり」我々地域に根ざす建設業者がそれぞれの地域を照らし続け、未来の子供たちに誇れる日本を残していきましょう。

深松 努

(3・11東日本大震災 仙台建設業協会激闘の記録より)



講師

ふかまつ つとむ
深松 努

(社)仙台建設業協会副会長
(株)深松組代表取締役社長

開催日時 平成25年9月25日(水) 15:00～17:00

場 所 飛騨・世界生活文化センター 大会議室
高山市千島町900-1 TEL(0577)37-6111

主 催 一般社団法人 高山建設業協会

入場無料 事前に参加申し込みをお願いします。
申込み先:(一社)高山建設業協会
TEL(0577)32-2131
FAX(0577)35-0919

「災害の備え大切」

仙台市の震災経験を語る 高山

高山建設業協会主催 高山市千鳥町の飛騨・世界生活文化センターの防災講演会が25日、世界生活文化センター

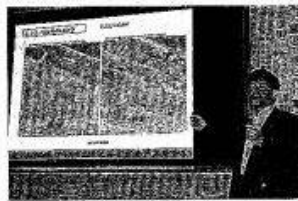


「被災地で復興事業に携わった経験を語る深松努さん」
高山市千鳥町 飛騨 世界生活文化センター

で開かれ、東日本大震災で被災した仙台市で警察や自治体とともにがれき処理や遺体捜索などにあたった仙台建設業協会副会長の深松努さんが講演した。高山建設業協会会員や行政関係者ら約130人が参加。深松さんは仙台市の建設業者「深松組」社長で、仙台建設業協会副会長。震災直後から被災地の復旧

2013年(平成25年)9月30日 高山市氏時報

災害復旧活動に備え建設業協会が講演会
災害が発生した時の応急復旧活動を進めるために、高山建設業協会(水口齊理事長)が二十五日に飛騨センターで「防災講演会」を開いた(下写真)。
仙台建設業協会副会長の深松努さんが講師を務め、協会員ら約百三十人が聴講した。
演題は「東日本大震災



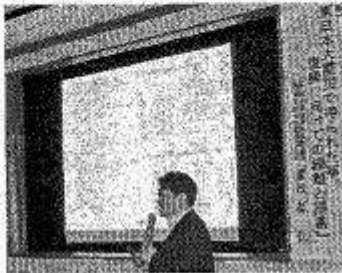
で得られたこと・復興への課題と提言」。
自ら被災しながらも、震災直後から緊急復旧作業に取り組んだ建設業者の活動を例に「通信手段がない状態でも活動するのか、日頃からしっかり確認を」「地域に根差す建設業者がそれぞれの役割を果たし、次代に誇れる日本を残していきたいましよう」などと話した。

業界・行政ニユース

東日本大震災被災地をテーマに

高山建設業協会が講演会を開いた。

高山建設業協会(水口齊理事長)は9月25日、飛騨・世界文化センターで仙台建設業協会の深松努副会長を招き「東日本大震災で得られた事、復旧に向けた課題と提言」をテーマにして講演会を開いた。



深松副会長は「建設業者は本来の仕事だけでなく、できることは何でも大震災で得られた事、復旧に向けた課題と提言」をテーマにして講演会を開いた。現在でもPTSD(心的外傷後ストレス障害)に苦しむ建設業者が多いことなど、被災地の実情について語った。

▲当時の様子を話す深松副会長